

## 研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 小児科学教室

### 記

研究の名称	小児腎疾患における腎容積の検討
対象	2018年1月1日から2024年5月31日までの期間に大阪医科薬科大学病院 小児科に通院もしくは入院で腎臓病の治療・検査をされた患者さんの超音波検査での腎臓のサイズ、身体計測値(身長、体重、血圧など)、血液・尿検査値(BUN、クレアチニンなどの腎機能、血尿、蛋白尿の程度など)を研究に利用いたします。本学では、200例の検討を予定しています。
研究期間	研究実施許可日(2024年6月18日) ~ 2029年5月31日
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的:我々は先行研究において、腎機能が正常な小児において、腹部超音波検査で計測した腎容積の体格別の基準値を設定し、腎容積が腎機能と強く関連していることを明らかとしてきました。今回、生まれつき腎臓や尿路の形の異常などを伴う先天異常や、そのほかの小児期に発症する腎臓病において腎容積を調べることで、腎容積とそのような病気がどのように関連しているかを明らかとすることを本研究の目的としています。</p> <p>利用方法:患者さんの身体計測値、血液・尿検査の検査値、腹部超音波検査での腎臓のサイズなどの診療情報を、電子カルテから抽出して、解析します。抽出した診療情報は、個人を特定できないよう加工したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表する予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日:研究実施許可日(2024年6月18日)</p>

<b>利用し、又は提供する 試料・情報の項目</b>	試料: なし 情報: 電子カルテ上の診療記録、検査データ等
<b>利益相反について</b>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<b>研究者名</b>  【研究責任(代表)者】  大阪医科薬科大学 小児科学 講師 松村 英樹	
<b>参加拒否の申し出について</b>  ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。参加拒否の申し出をされた場合は、本研究の対象から削除し、研究に利用しません。しかしながら、研究結果が公表された後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。	
<b>問い合わせ窓口</b>  【研究機関】  〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号  大阪医科薬科大学 小児科学教室  担当者 松村 英樹  連絡先 072-683-1221(代) 内線 56236	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
研究責任者 松村 英樹 殿

研究の名称	小児腎疾患における腎容積の検討
-------	-----------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄: )

住所

氏名(自署)